

伝えたい
残したい
わがまちの
誇り



川上地区
Kawakami

ふるさと の情景

VOLUME

10

川上地区

(延命寺の青葉まつり)



1



4



3



2

青葉まつりとは、真言宗の開祖である弘法大師（空海）の降誕会（誕生日を祝う法要）であり、延命寺では毎年、新緑が鮮やかな5月5日に行われています。正午になると僧侶が列をなして境内を進み、本堂前で「庭の讃」と呼ばれる入場の儀式があります。その後、本堂内部で声明や読経などが行われます。また、本堂正面に設えられた花御堂では、弘法大師の稚児像が安置され、参拝者が甘茶をかける灌仏が行われます。なお、当日は境内に雑貨や小物、地元野菜、焼き菓子などの出店もあり、収益の一部は東日本大震災の復興に役立てられています。

延命寺は寺伝によれば、弘法大師が当地を訪れ、建立したとされ、その後、寛永16年（1639）にこの地に誕生した浄厳が高野山での修行の後に中興したとされます。浄厳は、江戸時代の高僧で第5代將軍綱吉をはじめ諸大名の帰依を受けていました。境内には、この僧の墓があります。



1 本堂前に入場儀式「庭の讃」 2 本堂内部では声明や読経が行われる 3 青葉まつりでは野菜や雑貨類、お菓子など様々なお店が出される 4 晩秋には美しい紅葉が見られる延命寺

※延命寺は美加の台駅より南海バス神ヶ丘口徒歩12分。

ふるさと
のひと

上田 霊宣さん

青葉まつりは「弘法大師降誕会」という大師の誕生をお祝いし、大師の教えが広まり、衆生（すべての生き物）に恵みがあるようお祈りする法要です。「弘法大師」という名前は弘法利生といって仏の教えを広め、生きとし生けるものに恵みをもたらしたという業績に因んで醍醐天皇から贈られたものです。当山にある毘沙門天（多聞天）は仏法を守り、衆生に恵みを与えるもので、まさに大師の願いを具現化するものとなっています。

